NICHIYO

CORPORATE PROFILE

ごあいさつ

2020年1月に国内初感染者が確認されたコロナウィルス、 その時に世界がこの様な状況になるとは誰もが予想していませんでした。今ではウィズ・コロナやニューノーマルといった流行語もでてきました。
世界中の企業がその大小に関わらず大きな影響を受け、 当然ながら当社も例外ではありません。大きく環境が変わり、私たちが扱う食品に対する意識の変化もまた大きく急速です。

インターネットの普及によるグローバル化で情報やモノが世界中から手軽に手に入るようになりました。そしてコロナ感染症防止のため、外出への意識が変わり、ウーバーイーツなどの出来立ての宅配までが急伸、食を手に入れることはさらに手軽になり、食への意識はさらに変化しています。
この様に社会の大きな変化、 度重なる急激な変化により新たな課題に直面します。
しかしするべきことに変わりはありません。お客様や社会の変化に敏感であり、自身がその変化にいつでも対応できる準備をすること、 そしてより早く変わることです。

私たちは食品メーカー商社として、世界中に情報網と販売網を張り巡らせ、世界視野の企業を目指します。

そしてわらべや日洋グループの一員としてその理念『私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します』を世界に発信いたします。

代表取締役社長 今井　英俊

日洋について

日本の食卓に貢献する「メーカー商社」
世界に広がるネットワークで多彩な食材をご提供します

世界規模の調達ネットワークを持ち、加工・販売を行うメーカー商社

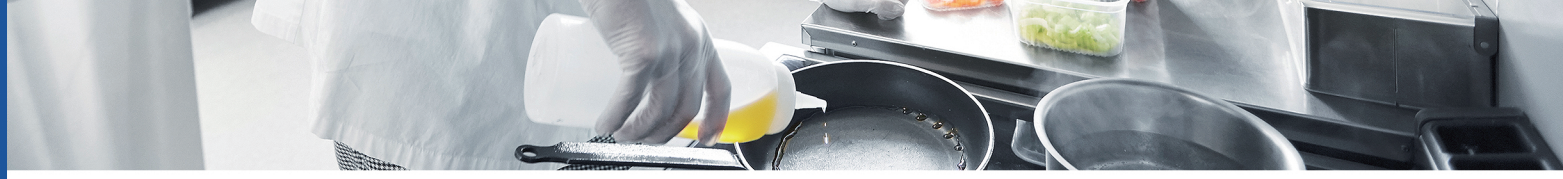
わたしたちは、コンビニエンスストアに並ぶお弁当やおにぎり、サンドイッチなど、毎日の”おいしさ”を支える食品商社です。「わらべや日洋グループ」の一員として、安全・安心で高品質な商品やサービスをグループの力でつくり出しています。
取り扱う食材は、水産物、農産物、畜産物、加工品と幅広く、調達ネットワークは、アジア、北米、南米、ヨーロッパと世界各地に広がっています。主力商品である水産物は、紅鮭（アメリカ）、助子（アメリカ）、筋子・いくら（ロシア・カナダ）、エビ（ベトナム・インド）、ちりめん（韓国・インドネシア）といったように、世界各地域より良質な食材を調達しています。
また、食材の加工については、製造工場を持つ子会社をはじめ、国内外の協力会社とも連携しながら、食材の開発から品質管理、生産までを行う「食のメーカー商社」として、価値の高い商品を送り出しています。

コンビニエンスストアのお弁当・惣菜を中心に食材を提供 新食材や付加価値の高い商品の開発・水産加工品の輸出にも挑戦

創業当時から主力としているのは鮭や魚卵などの水産加工品、味付けいなり揚げや鶏肉加工品などで、その多くがコンビニエンスストアのお弁当やおにぎり、惣菜などに生かされています。コンビニエンスストア以外では、外食チェーンやスーパーマーケットのお客様を持ち、近年は、輸入フルーツなど新食材の調達や、グループ会社で製造した水産加工品の海外（アメリカ・タイ・中国・ロシア）への輸出、付加価値の高い商品の開発など、事業の多角化・拡大を図っています。
また、衛生資材や事務機器・調理器具、副資材、災害用品など、食品工場向け商品の販売も事業のひとつで、製造工場をグループ会社に持つ当社ならではのノウハウを生かし、現場のニーズを汲みとった商品開発も行っています。

国内加工食品から輸入食材に至るまで品質管理を徹底

自社に品質管理部門を持ち、国内生産の加工品から輸入食材に至るまで、安全・安心な商品をお客様にご提供します。仕入先任せにする商社が多い中、私たちは原材料の養殖方法や栽培方法、加工食品の製造工程のチェック、仕入先工場の監査などを行い、自らの目で確認をした安全で安心な食材のみを取り扱っています。また、すべての商品について当社の責任として規格書や表示ラベルの確認を行ったうえで、お取引先に商品を納入しています。
品質基準が厳しいコンビニエンスストアへの商品提供を通じて培ったノウハウは、幅広いお客様から高い評価を得ており、これからも日本の食卓に、安全・安心、食の楽しさを提供する企業であり続けたいと願っています。



商品化へ向けた企画・開発

新食材の開発と付加価値の高い商品づくりで
これまで以上の顧客満足度を追求

クオリティの高い食材の開発に注力。
イチゴやみかんなどフルーツの調達も

ライフスタイルが多様化し、お弁当や惣菜など中食の市場規模が拡大する中、食材商社の役割はますます大きくなっています。食材については、既存のサプライヤーからの供給を確保するとともに、新たな調達先の開拓も私たちにとって大切なミッションと位置づけています。近年は自ら海外に出向き、現地で最新の情報を収集しながら、クオリティの高い食材の開発に注力しています。

一例として、EMS（※）でタイ産のエビが減少して以降、課題となっていたエビの調達先としてインド産のエビに注目し、当社が加工現場で日本の品質水準に適合した指導を行い、道筋をつけました。その他、開発中の食材にはミャンマーの野菜や、タイ・ベトナムの鶏肉加工品があります。また、主力であるお弁当や惣菜の食材以外に、デザート用フルーツの調達にも乗り出しており、チリ産イチゴ、スペイン産ミカンを調達しています。

※EMS‥早期死亡症候群

一貫したフローでスピーディな開発が可能。トレンドをリサーチした自社発案商品も

中食市場は、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどがしのぎを削る市場となっています。そのような中、各社は消費者のニーズを読み取りながら、スピーディな商品開発を行い、常に新しいおいしさを追求しています。当社の強みは、このような中食市場の中で調達から製造までを手がけるメーカー商社の特長を生かした“商品企画力”と“開発力”にあります。お客様の要望を受けて、提案・サンプル作成・商品決定までのフローを自社で一貫して行い、サンプルの作り変えもスピーディに対応しています。また、子会社や協力会社との連携で、品質や安全性を開発初期に提示できるのも強みです。新商品については、製品のトレンドをリサーチして自社発案の商品開発を行い、社内の調達部門と連携しながら、品質面やコスト面で優位な原料を提案するなど、顧客満足度の高い商品づくりを心がけ、好評を得ています。

デイリーメーカー用の加工度の高い食材やチルド惣菜、ファストフード商品も手がける

近年、製造メーカーは人件費の高騰により省人化の取り組みを強化しており、例えば、揚げ物については衣をつけ、工場では揚げるだけで完成する加工度の高い食材の依頼が増え、当社は、その要望にお応えしています。また、コンビニエンスストア向け商品としては、チルド惣菜（焼き魚など）や店内で揚げるファストフード商品、スーパーマーケット向け商品としては味付けした焼き鳥などを手がけています。

当社の強みのひとつは、お客様のニーズに合わせて様々な形態の商品を迅速に開発するところにあります。そのため、水産加工品の大半は、国内のグループ会社工場で製造し、小ロットでの生産も可能です。また、日洋オリジナル商品としてスーパーマーケット向けコンシューマ商品を企画するなど、新たな取り組みにも挑戦しています。

フィルム加工メーカーと共同開発した衛生シート。環境に配慮した植物由来の原料を使用した製品の開発も。

食品工場で使用される衛生資材、白衣、事務機器、調理器具など、自社開発商品から既存商品まで幅広く扱っています。取引先としては、わらべや日洋グループを中心に他社の工場にも販売しています。自社開発商品のひとつとして、フィルム加工メーカーと共同開発した「NIシート」があります。この製品は、調理用トレーに使用するシートで、折り方に工夫がされており、ワンタッチで装着が可能で、作業効率が格段にアップしたと好評を得ています。今後も現場のニーズを汲み取りつつ、環境に配慮したポリ乳酸やナノセルロース、ピュアコットンといった植物由来の原料を使用した製品を開発し、販売して行きたいと考えています。

安全・安心への取り組み

原材料の調達から製造加工、品質表示までの
一貫した取り組みで安全・安心を追求

品質保証部を司令塔とする品質管理システムで、食の安全を確保

当社は、お客様に安全・安心な商品を提供するために、原材料・食材の調達から製造までのプロセスを一貫して管理しています。その品質管理の司令塔となるのが「品質保証部」です。食品に関する法律や製造工程管理、化学分析、微生物検査など専門的な知識と技能を備えた人材を揃え、当社の子会社や仕入先と連携しながら緻密な品質管理システムを機能させます。

管理が行き届きにくい海外では、現地に駐在員を置き、自らの目で品質を確認します。2007年に海外製食品による食品安全に関する問題が発生して以降一般的となった方法ですが、当社では海外での調達・製造を始めた2003年から駐在員システムを採用し、駐在員の熟達した指導方法・管理方法がお客様より高い評価を得ています。また、取扱商品は他社で製造されたものでも食材のトレーサビリティから表示に至るまで、当社が自らチェックを行い、取引先へ納入する体制をとっています。

現場に入り込み、品質管理を徹底。
規格書や表示ラベルも自社の責任で

高い水準の品質を確保するには、仕入先との知識や技術の共有が欠かせません。仕入先に対しては、取引の前に工場監査を行い現場を詳細に確認し、微生物や温度データの解析結果もあわせ、管理向上のためのアドバイスも行います。単独で仕組みの構築・管理が難しい会社であれば、製造工程づくりから指導や支援を行い、稼働後も最新の情報を提供するなど継続的にサポートします。
調達する食材の品質管理については、農作物なら圃場、水産品なら養殖現場に足を運び、土壌や水質を調べることから始め、薬品の使用状況やエサの内容も規格に適合しているかを確認します。
このように、生産現場まで自ら確認したトレーサビリティの開示は、安心度が高いとお客様より好評を得ています。食材・加工品の規格書や表示ラベルは、自社で製造する商品はもちろん、他社製造のものでも当社がひとつひとつ目を通して記載もれがないか、法律に則っているかをチェックするほか、お客様が要望する書式にて規格書も作成しています。

子会社のご案内

おいしさを支える２つの子会社

株式会社 サンフーズ横倉 （株式会社日洋100%出資子会社）

新潟県小千谷市で米どころの良質な水と、生産・流通管理のトレースが可能な厳選した大豆を使用し、製法にこだわった油揚げを製造しています。また、真空調理法など独自の技術で作り上げる味付けいなり揚げは、お客様より「ふっくらとおいしい昔ながらの揚げ」との評価を頂戴し、コンビニエンスストアやスーパーマーケットのいなり寿司のおいしさを支えています。その他の商品として、刻み揚げやきつね揚げがきつねうどんやそばに採用されています。

北京日洋欣荣商贸有限公司 （株式会社日洋100%出資子会社）

「株式会社日洋」が100%出資し、中国で食材・食品の仲介事業を展開しています。
「わらべや日洋株式会社」と台湾企業の合弁会社であるデイリーメーカー「北京旺洋食品有限公司」との協力体制の下、価値の高い食材・食品を提供しています。日本・中国・タイ資本の有力な大手食材・食品メーカーと長期的な契約を結び、質の高い食材・食品を調達・提供しています。主力取引先はコンビニエンスストアで、その他にも外食チェーやスーパーマーケットに食品・食材を提供しています。

会社概要

商　　号	株式会社　日洋（NICHIYO CO.,LTD.）
所 在 地	本　　社：〒162-8021 東京都新宿区富久町13-19 TEL：03-5363-7214 北京事務所：中華人民共和国北京市朝陽区東四環中路60号 遠洋国際中心Ｃ座 2002 室 TEL：010-5964-8865 ベトナム駐在員事務所：Room 15, 7th Floor, Star Building, No. 33Ter - 33Bis, Mac Dinh Chi Street, Da Kao Ward, District 1, Ho Chi Minh City,Vietnam
設　　立	1971年7月1日
事業内容	水産・農産・畜産物・加工食品の国内販売及び輸出入 惣菜及び加工食品等の製造・販売 食品包装資材、各種工場用品の販売
資 本 金	90百万円
売 上 高	18,841百万円（2020年2月期）
決 算 期	2月末日（年1回）
役　　員	代表取締役社長　今井　英俊 取締役　福島　光広 取締役（非常勤）　辻　英男 取締役（非常勤）　白井　恒久 取締役（非常勤）　吉田　宏
従業員数	84名

■本社

主要販売先

■株式会社セブン＆アイ・ホールディングス
■日本デリカフーズ協同組合
■ベンダーサービス株式会社
■リテールシステムサービス株式会社
■フジパングループ本社株式会社
■ケンコーマヨネーズ株式会社
■国分グループ本社株式会社
■東光食品株式会社
■株式会社吉野家ホールディングス

主要仕入先

■株式会社日洋フレッシュ
■株式会社サンフーズ横倉
■株式会社ナラザキフーズ
■全国漁業協同組合連合会
■CPグループ（Charoen Pokphand Foods Public Co., LTD./正大集団（中国））
■スターゼンインターナショナル株式会社
■株式会社大新
■東海澱粉株式会社
■東邦物産株式会社
■株式会社ベニレイ

福利厚生

■退職金制度
■社員食堂
■家族旅行補助
■社員持株会制度
■プロ野球シーズンチケット
■サークル活動
■リロクラブ
■労災補償給付制度（法定外補償）
■研修制度（社内外研修・海外研修）
■保養所
■所得補償保険制度
■選択制確定拠出年金制度

沿革

当社は、わらべや日洋株式会社の創業者である大友太郎が、1971年、わらべや日洋グループの商事部門として設立しました。
わらべや日洋グループ各社に水産、農産、畜産物及び加工食品等の販売を行うと共に、グループ以外の食品加工会社、商社等への販路を拡大し、今日までに飛躍的な成長を遂げてまいりました。今後も”メーカー商社”としての機能をより充実させ、積極果敢にマーケットの拡大を図ってまいります。

1971年　7月	東京都新宿区西新宿に設立（商号　日洋フーヅ株式会社　資本金500万円）
1971年　9月	資本金を1,500万円に増資
1978年　5月	資本金を3,000万円に増資
1978年　6月	商号を株式会社日洋に変更
1989年　1月	大阪営業所を大阪市淀川区に設置
1991年　9月	「株式会社日船」を合併し、舶用機器等の輸入代理店業務を行う（資本金を6,000万円に増資）
1991年 11月	資本金を9,000万円に増資
1992年　3月	本社を東京都新宿区市谷本村町１番１号に移転
1992年　5月	わらべや日洋株式会社向け味付いなり揚げを製造している新潟県小千谷市の「株式会社サンフーズ横倉」へ出資(55%)
1993年　1月	中国北京市に北京駐在員事務所を設置
1993年　6月	東京都新宿区に子会社「株式会社日洋フレッシュ」を設立、わらべや日洋株式会社向け鮭切り身の製造を開始
1994年　7月	北海道釧路市に「株式会社日洋フレッシュ」の釧路工場を新設、鮭切り身･鮭フレークの製造を開始
1996年 11月	名古屋営業所を名古屋市千種区に設置
1998年 12月	東海地区販売拠点を大阪営業所に統合し、名古屋営業所を閉鎖
1999年　5月	「株式会社日洋フレッシュ」の生産拡大用地として、北海道釧路市に土地、建物を購入
2001年　2月	舶用機器等の輸入代理店業務を終了し、機械部を廃部とする
2003年　3月	中国青島市に品質保証部駐在事務所を設置し、中国生産の品質管理を行う
2004年　4月	大阪営業所を、大阪市淀川区西中島に移転
2005年　8月	子会社「株式会社サンフーズ横倉」の株式を取得（100%）
2007年　2月	北京駐在員事務所を北京市遠洋国際中心ビルへ移転
2012年 12月	中国北京市に「北京日洋欣榮商貿有限公司（当社出資100%）」を設立し、中国における食品等の販売・輸出入に着手
2018年　1月	本社を東京都新宿区富久町13番19号に移転
2020年　9月	現物配当の実施により、株式会社日洋フレッシュをわらべや日洋ホールディングス株式会社の直接子会社へ移管
2021年　2月	ベトナム ホーチミン市にベトナム駐在員事務所を設置
2021年　3月	西日本地区販売拠点を本社に統合し、大阪営業所を閉鎖

株式会社日洋は「中食事業」を展開する
わらべや日洋グループの一員です。

グループ会社のご案内

わらべや日洋グループは、安全・安心と価値ある商品・サービスの提供を通じてお客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

Warabeya Nichiyo HLDGS.

Warabeya Nichiyo | Warabeya USA | Warabeya TEXAS | 北京旺洋食品有限公司

Bestrans | PROSYSTAS | SocialLink | Warabeya Heartful

株式会社 日洋フレッシュ | NICHIYO | 株式会社 サンフーズ横倉 | 北京日洋欣荣商贸有限公司

【グループ全体の経営管理等】
わらべや日洋ホールディングス株式会社
http://www.warabeya.co.jp/

【食品関連事業】お弁当、 おにぎり、 惣菜等の製造販売
わらべや日洋株式会社
WARABEYA U.S.A.,INC.
WARABEYA TEXAS,INC.
北京旺洋食品有限公司
WPM FOODS, LLC

【食材関連事業】食品用材料の調達・加工・販売
株式会社日洋
株式会社日洋フレッシュ
株式会社サンフーズ横倉
北京日洋欣荣商贸有限公司

【物流関連事業】 食品・食材等の仕分・配送、 物流システム
株式会社ベストランス
http://www.bestrans.co.jp/

【食品製造設備関連事業】 食品製造設備などの販売
株式会社プロシスタス
http://prosystas.jp/

【人材派遣・業務請負事業】 人材派遣、 業務請負
株式会社ソシアリンク
https://www.socialink.co.jp/

【その他】
株式会社わらべやハートフル
株式会社キャストリンク